

宮古・室蘭フェリー航路開設セミナーが開催されました

港湾課

平成 28 年 8 月 6 日（土）、宮古市民文化会館において、宮古・室蘭フェリー航路開設セミナーが開催されました。

セミナーでは、フェリーを運航する川崎近海汽船(株)常務取締役の寅谷剛様から、「北海道発着フェリーの現状と宮古・室蘭航路の展望について」、フェリーの就航先である室蘭市総務課主幹本野泰伸様から「室蘭ってどんなまち？～室蘭の魅力を知ろう～」という演題で、室蘭市の観光や物産の魅力について紹介いただきました。

寅谷常務取締役からは、**宮古発の想定貨物は、通販の利用に伴う宅配貨物や冷凍食品、野菜**などであり、**室蘭側からは活牛業者からの期待**が大きいという説明がありました。

団体客については、北海道内の中学校が岩手県内を検討し始めているとして、**修学旅行の利用に期待**を示しました。

また、3年後には、新造船にリプレイスして、**片道 10 時間から 9 時間に高速化**したいこと、などの説明がありました。

平成 30 年に、フェリーは一日一便でスタートしますが、時期は明言できないが、将来的に朝夕 2 便体制に増強したいとし、そのためには、早い時期に安定需要を確保することが肝要で、復興道路の全線開通が大きなポイントになると指摘しています。

次に、札幌大学の千葉博正教授をコーディネーターに、岩手大学の今井潤教授、岩手県トラック協会会長高橋嘉信様、岩手県旅行業協会理事成ヶ澤亨様、室蘭商工会議所副会頭松永英樹様、宮古商工会議所会頭花坂康太郎様の 5 人のパネラーの方々から、**トラックドライバーの人材育成や外国人旅行者の受け入れなどの課題について意見交換**が行われました。

新しいインフラができることにより、**各産業に可能性**が出てくること、**多様性を持った産業構造**になることへの期待が表明されました。

岩手県としても、平成 30 年 6 月のフェリー定期航路開設に必要なフェリーターミナル等の施設整備を着実に実施するとともに、宮古市及び宮古港フェリー利用促進協議会と連携して、フェリーの利用促進に取り組んでいきます。



川崎近海汽船(株) 寅谷常務取締役 様



室蘭市総務課 本野主幹 様



パネルディスカッションの様子